



新型コロナワクチン 接種関連情報



▲新型コロナワクチン接種
についてのお知らせ

※新型コロナワクチン接種は強制ではありません。

●伊奈町ワクチン接種コールセンター ☎ 797-8100 (伊奈町中央5-179総合センター1階)
(電話・窓口受付：月～金曜日9時～17時、電話のみ受付：土曜日9時～13時、どちらも日祝日除く)

令和5年秋開始接種について

対 生後6か月以上の追加接種可能な方
ワクチンの種類▶オミクロン株XBB.1.5対応1価ワクチン
接種期間▶令和6年3月31日(日)まで
接種回数▶1回(無料)



●接種券について

取り扱い…令和5年秋開始接種用の接種券のみ使用できます。

※令和5年春開始接種以前の接種券は使用できませんのでご注意ください。

発送…追加接種が可能な方の接種券発送は、10月末までに終了しました。令和5年8月以降に前回接種された方は、
前回接種日から3か月経過次第、順次発送していきますのでお手元に届くのをお待ちください。

対象	発送状況
12歳以上	追加接種が可能な方のうち、 前回接種日から3か月経過している方へ 10月末までに発送済
5歳～11歳(令和5年11月1日時点)	
生後6か月～4歳(令和5年11月1日時点)	

転入された方の申請…伊奈町の接種券で接種をされたことがない方(予診のみで接種を受けられなかった方を含む)、
伊奈町に再転入された方は申請をお願いします。必要書類や申請方法など詳しくは、町ホームページをご覧ください。

※その他、予約受付開始時期など詳しくは、決まり次第、町ホームページなどでお知らせします。

	5月8日～9月19日	9月20日～令和6年3月31日
12歳以上	<p>令和5年春開始接種 初回接種を完了した以下の方が対象</p> <ul style="list-style-type: none"> ・65歳以上の方 ・65歳未満で基礎疾患等を有する方 ・65歳未満で医療従事者等の方 <p>オミクロン株対応2価ワクチン1人1回</p>	<p>令和5年秋開始接種 初回接種を完了したすべての方</p> <p>オミクロン株XBB.1.5対応 1価ワクチンを使用予定 1人1回</p>
5歳～11歳	<p>上記以外の方</p> <p>令和5年春開始接種 基礎疾患等を有する方は追加で1回接種可能 オミクロン株対応2価ワクチン</p> <p>令和4年秋開始接種 (オミクロン株対応2価ワクチン)</p>	
生後6か月～4歳	<p>初回接種(1～3回目接種)を完了した方 従来株ワクチン</p>	

初回接種（生後6か月以上）について

初回接種（生後6か月以上）の実施期間は、令和6年3月31日(日)までとなっています。9月20日以降、初回接種のワクチンも、XBB.1.5対応1価ワクチンに切り替えています。予約受付開始時期など詳しくは、町ホームページへ掲載しますのでご覧ください。

なお、接種券の発行を希望される方は申請が必要です。詳しくは、町ホームページをご覧ください。

接種券を紛失された方へ

新型コロナワクチン接種および予約には、接種券付き予診票および接種済証（宛名台紙部分）が必要です。なお、接種券を紛失された方は、伊奈町ワクチン接種コールセンター窓口または電子で再発行の申請をしてください。

申請内容により必要書類が異なりますので、詳しくは町ホームページをご覧ください。

新型コロナワクチン接種の予約方法

(1)インターネットでの予約（24時間受付）

(2)電話での予約 ☎ 797-8100

月～金曜日：9時～17時

土曜日：9時～13時（日祝日除く）

(3)窓口での予約

月～金曜日：9時～17時（土日祝日除く）

予約に関する注意事項

※接種券がお手元に届いた方から、ご予約ください。

※(2)(3)は町コールセンターで受け付けます。

※電話や窓口での予約は、混雑状況によりお待ちいただく場合があります。

※接種医療機関での予約受付は行っていません。

問 **新型コロナワクチンに関する厚生労働省電話相談窓口**
厚生労働省新型コロナワクチンコールセンター（多言語対応あり）
☎ 0120-761-770
（9時～21時、土日祝日可）

重い副反応などの症状が現れたら
埼玉県新型コロナワクチン専門相談窓口
☎ 0570-033-226
（24時間対応、土日祝日可）



甲状腺の異常について

甲状腺は首の前面・喉仏の下にある蝶のような形をした臓器で、体の新陳代謝を促進している重要な2種類の甲状腺ホルモン（T4とT3）を分泌しています。甲状腺の病気には、そのホルモンの分泌異常と腫瘍性疾患があります。ホルモンの産生が多くなることを甲状腺機能亢進症といい、その代表がバセドウ病です。逆にホルモン分泌が少なくなることを甲状腺機能低下症といい、その代表が橋本病です。バセドウ病では甲状腺は大きくなり（甲状腺腫）、目が内側から押し出されるように見える（眼球突出）、脈が速くなる（頻脈）が特徴ですが、新陳代謝の亢進により体重減少、発汗、手の震え、不整脈などもみられます。自律神経失調症や更年期障害と間違えられることがあります。橋本病で機能低下症になりますと甲状腺が大きくなり、全身の代謝が低下することにより無気力、疲れやすさ、全身のむくみ、寒がり、体重増加、

便秘、かすれ声などが生じます。うつ病や認知症と間違えられることもあります。いずれも自己免疫疾患で女性に多いのが特徴ですが、原因は不明です。正確に診断するために甲状腺ホルモンと脳下垂体から分泌される甲状腺刺激ホルモン（TSH）を測定する必要があります。バセドウ病と橋本病の診断には甲状腺自己抗体を測定します。いずれも血液検査でわかりますのでかかりつけ医にご相談してください。甲状腺の腫瘍性疾患については血液検査ではわかりませんので画像検査、特に超音波検査をする必要があります。甲状腺ホルモンの主原料は、海藻類に含まれるヨウ素（ヨード）です。必要なヨウ素は取らなければなりません。ヨウ素の多い昆布を毎日食べ過ぎたり、ヨウ素含有のうがい薬を多用すると、甲状腺ホルモンが作られなくなり甲状腺機能低下症となることがありますので注意が必要です。

甲状腺は触れないのが正常であり触れば大きいのでかかりつけ医にご相談してください。

〈提供：（一社）桶川北本伊奈地区医師会〉